

歩行者天国社会実験「まちなかホコテン 2011」の実施結果について

1 社会実験の目的

まちなかにぎわいの創出効果や自動車流入抑制効果を把握するとともに、周辺の道路交通に与える影響などの課題について検証することにより、本格実施の実現可能性を探ることを目的として、平成21年度に引き続き実施した。

2 社会実験の概要

(1) 実施日時

平成23年(2011年)3月12日(土) 12時～18時

(2) 実施主体

まちなかホコテン社会実験実行委員会
[主な構成メンバー]

広島市中央部商店街振興組合連合会、
並木通り商店街振興組合、広島市中の
棚商店街振興組合、袋町「裏通り」活
性化委員会、NPO法人セトラひろし
ま、広島商工会議所、広島市(事務局)

(3) 実施場所

並木通り、中の棚、袋町公園、広島市西
新天地公共広場(アリスガーデン)

(4) 開催イベント

歩行者天国の区間や袋町公園、広島市西
新天地公共広場(アリスガーデン)にお
いて、地元商店街等の協力により、様々
なイベントを実施した。

(5) 調査内容

ア 実態調査

歩行者通行量調査、周辺道路の渋滞状況調査

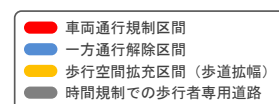
イ アンケート調査

(ア) 調査対象及び調査方法

- ・来街者への街頭ヒアリング(回答数343人)
- ・沿道店舗への調査票の配布回収(回答数161店舗)
- ・駐車場利用者へのヒアリング(回答数112人)

(イ) 主な調査内容

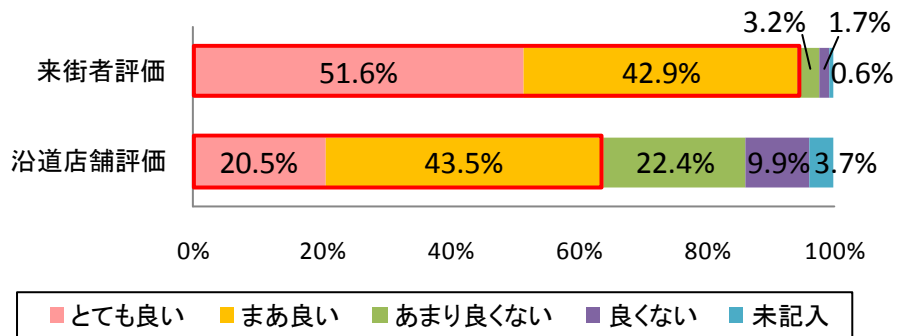
満足度、来街者の滞在時間や移動範囲の変化、来店者数の変化、今後の継続実施の賛否等



3 実施結果

(1) 来街者及び沿道店舗の満足度

✓ 来街者の95%、沿道店舗の64%が「良い取組である」と評価。



【回答者数】 来街者 343人 沿道店舗 161店舗

(2) にぎわいの創出

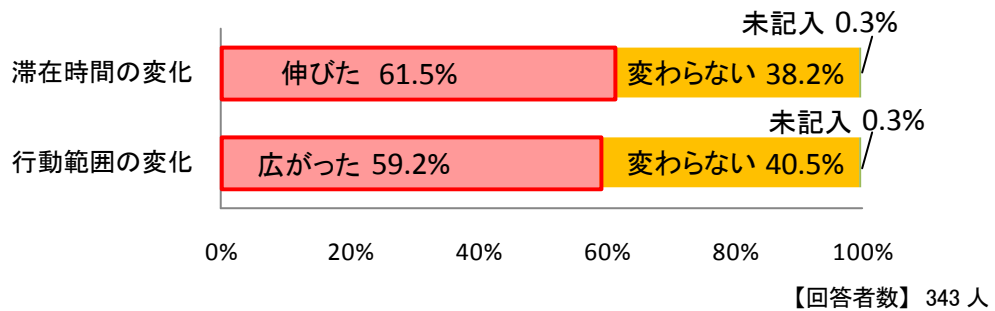
ア 来街者数の変化

✓ 歩行者通行量は、歩行者天国実施エリア全体で、実験前の約1.3倍に増加。



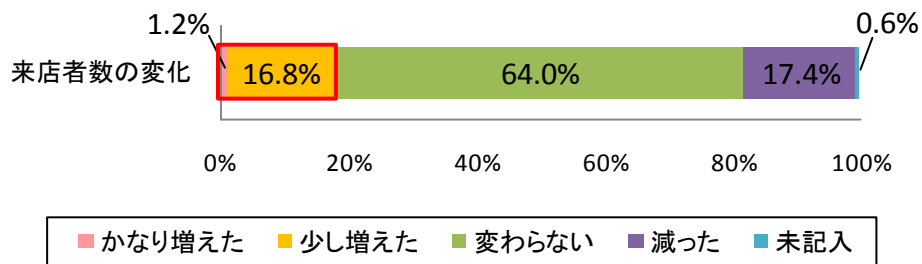
イ 来街者の滞在時間と移動範囲の変化

- ✓ 滞在時間については、約6割が「伸びた」と回答。
- ✓ 移動範囲については、約6割が「広がった」と回答。



ウ 来店者の変化

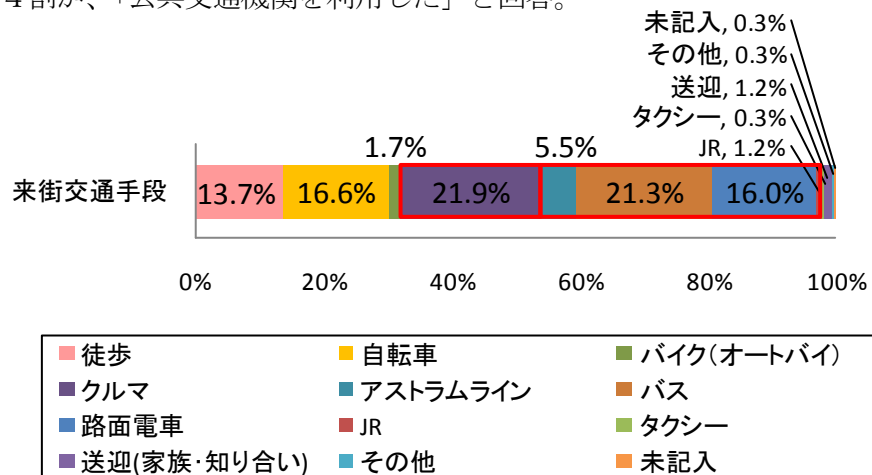
- ✓ 沿道店舗の約2割は来店者の「増加」を感じているが、約6割は「変わらない」と回答。



(3) 自動車流入抑制

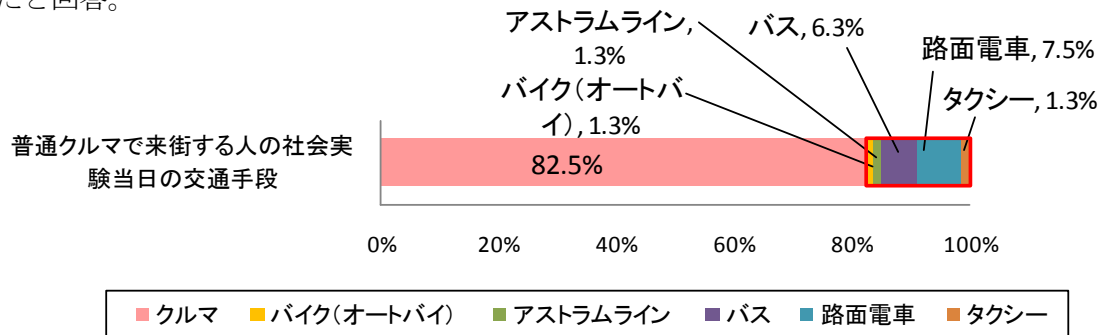
ア 来街交通手段

- ✓ 社会実験当日における、歩行者天国実施エリアまでの交通手段は、約2割が「クルマ」と回答。
- ✓ 一方、約4割が、「公共交通機関を利用した」と回答。



イ クルマからの転換

✓ 普段クルマで来街している人のうち、約2割が、社会実験当日は別の交通手段に転換したと回答。

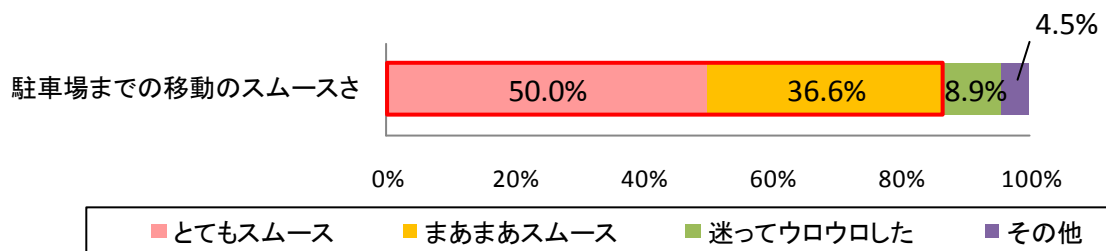


【回答者数】 80 人

(4) 周辺の道路交通への影響

✓ 駐車場利用者の87%が、歩行者天国実施エリア周辺の駐車場までの移動は「スムーズ」だったと回答。

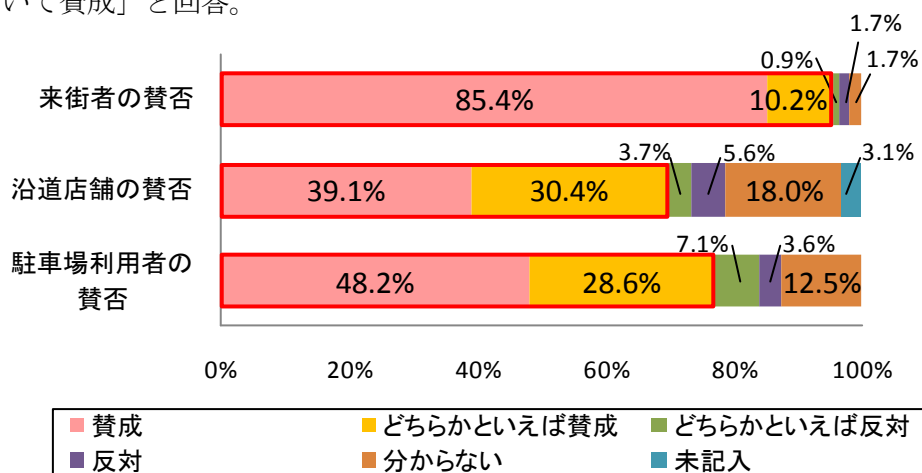
✓ また、実験実施中の渋滞状況調査（渋滞長）の結果においても、通常時以上の渋滞は発生しなかった。



【回答者数】 112 人

(5) まちなかホコテンの継続実施

✓ 来街者の96%、沿道店舗の70%、駐車場利用者の77%は、まちなかホコテンの「継続について賛成」と回答。



【回答者数】 来街者 343 人 沿道店舗 161 店舗 駐車場利用者 112 人

4 まとめ

今回の社会実験では、前回の実験結果を踏まえ、一部交通規制の内容等を見直すとともに、来街者が楽しめる様々なイベントを実施した。

その結果、歩行者天国の実施がクルマによる来街を抑制するまでは至らなかったものの、昨年度の実験で見られた実施エリア周辺の細街路における交通混雑は発生せず、駐車場利用者の多くが駐車場までスムーズに移動できたと答えるなど、周辺の道路交通への影響を少なくすることができた。

また、来街者や沿道店舗の歩行者天国に対する評価は高く、まちのにぎわい創出についても一定の効果が得られるなど、歩行者天国の有効性が確認できた。

さらに、歩行者天国の継続については、来街者、沿道店舗及び駐車場利用者の多くが賛成していることなどから、引き続き地元関係者や県警など関係機関と協議調整を行いながら、本格導入に向けた検討を進める。